

好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対する生物学的製剤の有効性および安全性の検討

1. 臨床研究について

福岡赤十字病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。その一つとして、九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科および共同研究機関では、現在好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の患者さんを対象として、生物学的製剤の有効性および安全性に関する「臨床研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2029年3月31日までです。

2. 研究の目的や意義について

好酸球性多発血管炎性肉芽腫症という病気は、小さな血管に炎症を起こす血管炎の一つです。先行症状として気管支喘息や鼻副鼻腔炎がみられ、主な症状としては、手足のしびれ、皮膚の紫斑、腹痛や下血などの症状が現れます。

好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の治療法としては、主にステロイドや免疫抑制薬を用いるのが一般的ですが、近年生物学的製剤も用いられるようになりました。生物学的製剤は安全性も高く、日常診療で広く使用されるようになりましたが、実臨床下での有効性・安全性、減量あるいは投与期間延長で使用した際の有用性は明らかではありません。

そこで、今回九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科では、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症患者さんの臨床情報を用いて、実臨床下での生物学的製剤の有効性・安全性、治療反応性予測に有用な因子、長期寛解維持後の投与方法調整の妥当性を検討することを目的として、本研究を計画しました。本研究を行うことで、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の長期的な治療方法が明らかになり、患者さんの治療成績の改善に役立つと考えます。

3. 研究の対象者について

九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科、神戸大学医学部附属病院膠原病リウマチ内科、福岡赤十字病院膠原病内科において、2018年5月1日から2024年7月30日までに生物学的製剤を開始した70名を対象にします。

研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

4. 研究の方法について

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。取得した情報は神戸大学医学部附属病院膠原病リウマチ内科、福岡赤十字病院膠原病内科にて個人情報を加工し、郵送またはファイル共有システムの proself にて九州大学病院へ収集します。取得した情報を九州大学病院で統計解析を用いて分析し、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の実臨床下での生物学的製剤の有効性・安全性を明らかにします。

[取得する情報]

生年月、年齢、性別、身長、体重、診断年月

血液検査：白血球数、好酸球数、クレアチニン、推定糸球体濾過量、CRP、IgG、IgE、RF、MPO-ANCA、PR3-ANCA

疾患活動性：臓器障害の種類、Five Factor Score、BVAS、VDI

治療：初回寛解導入療法の内容、プレドニゾロン投与量、免疫抑制剤・生物学的製剤の種類・投与量

転帰：再燃、合併症（感染症、心血管イベント、悪性腫瘍）

[利用又は提供を開始する予定日]

研究許可日以降

5. 研究への参加を希望されない場合

この研究への参加を希望されない方は、下記の相談窓口にご連絡ください。

なお、研究への参加を撤回されても、あなたの診断や治療に不利益になることは全くありません。

その場合は、収集された情報は廃棄され、取得した情報もそれ以降はこの研究目的で用いられることはありません。ただし、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。

6. 個人情報の取扱いについて

研究対象者のカルテの情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、九州大学大学院医学研究院病態修復内科学分野および共同研究機関内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、福岡赤十字病院膠原病内科・部長・井上 靖の責任の下、厳重な管理を行います。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

7. 試料や情報の保管等について

[情報について]

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、病院膠原病内科・部長・井上 靖の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた研究対象者の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画

を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

8. この研究の費用について

この研究に関する必要な費用は、文部科学省科学研究費でまかなわれます。

9. 利益相反について

福岡赤十字病院では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して福岡赤十字病院では「利益相反管理基準」及び「利益相反マネジメント・ポリシー」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は文部科学省科学研究費であり、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

福岡赤十字病院 研究倫理委員会

(窓口：福岡赤十字病院 臨床研究センター 電話：0570-03-1211)

10. 研究に関する情報の公開について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、この研究に関する情報や研究成果等は、以下のホームページで公開します。

九州大学医学部第一内科ホームページ：<http://www.f-bmtg.jp/kyushu-u.1nai/index01.html>

また、この研究では、学会等への発表や論文の投稿により、研究成果の公表を行う予定です。

11. 特許権等について

この研究の結果として、特許権等が生じる可能性があります。その権利は九州大学及び共同研究機関等に属し、あなたには属しません。また、その特許権等を元にして経済的利益が生じる可能性があります。これについてもあなたに権利はありません。

12. 研究を中止する場合について

研究責任者の判断により、研究を中止しなければならない何らかの事情が発生した場合には、この研究を中止する場合があります。なお、研究中止後もこの研究に関するお問い合わせ等には誠意をもって

対応します。

1.3. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科 九州大学大学院医学研究院医学教育学講座 九州大学大学院医学研究院病態修復内科学分野	
研究責任者 (研究代表者)	九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科 助教 綾野 雅宏	
研究分担者	九州大学大学院医学研究院医学教育学講座 教授 新納 宏昭 九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科 医員 吉村 元樹	
共同研究機関等	機関名 / 研究責任者の職・氏名・(機関の長名)	役割
	① 神戸大学医学部附属病院膠原病リウマチ内科 特定助教 西村 啓佑 (眞庭 謙昌)	情報の収集
	② 福岡赤十字病院膠原病内科 部長 井上 靖 (中房 祐司)	

1.4. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	担当者：九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科 助教 綾野 雅宏 連絡先：〔TEL〕 092-642-5233 〔FAX〕 092-642-5247 メールアドレス：ayano.masahiro.811@m.kyushu-u.ac.jp
事務局 (当院相談窓口)	担当者：福岡赤十字病院 膠原病内科 部長 井上 靖 連絡先：〔TEL〕 0570-03-1211 〔FAX〕 092-522-3066

【留意事項】

本研究は九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会において審査・承認後、以下の研究機関の長（試料・情報の管理について責任を有する者）の許可のもと、実施するものです。

福岡赤十字病院 院長 中房 祐司